

宮城県感染症発生動向調査情報

令和04年08月12日発行

2022.8.1 ~ 2022.8.7 - 第31週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第28週	第29週	第30週	第31週
水痘		2 0.20	1 0.14	1 0.13		1 0.04	5 0.09	167				
流行性耳下腺炎			1 0.14			2 0.07	3 0.05	52				
感染性胃腸炎	20 5.00	17 1.70	15 2.14	12 1.50		56 2.07	120 2.07	8,423	◎	◎	◎	◎
手足口病	4 1.00	26 2.60	59 8.43	30 3.75		164 6.07	283 4.88	809	○	◎	◎	◎
伝染性紅斑							0 0.00	31				
突発性発しん	5 1.25	2 0.20	3 0.43	5 0.63	2 1.00	12 0.44	29 0.50	783	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ	5 1.25	4 0.40	35 5.00	11 1.38		33 1.22	88 1.52	272			○	◎
インフルエンザ			1 0.09				1 0.01	16				
咽頭結膜熱				1 0.13			1 0.02	226				
流行性角結膜炎		1 0.33				1 0.17	2 0.17	62				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1 0.10	1 0.14		1 0.50	2 0.07	5 0.09	432				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	3				
無菌性髄膜炎							0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	7				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	4 1.00	1 0.10	3 0.43	2 0.25	1 0.50	24 0.89	35 0.60	190				○
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)											
	川崎病											
	不明発疹症						2					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))
塩釜管内 男児1名※
仙台管内 男性1名、女性1名(第30週)、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
石巻管内 女性1名
塩釜管内 男性1名(第30週)
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性2名

4類感染症: レジオネラ症
塩釜管内 女性1名
仙台管内 男性3名、女性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 女性1名
梅毒
仙南管内 女性1名(第30週)
石巻管内 男性1名
仙台管内 男性1名(第30週)、男性1名、女性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症
仙南管内 男性534名、女性601名
塩釜管内 男性1,838名、女性1,885名
大崎管内 男性744名、女性847名
石巻管内 男性889名、女性923名
気仙沼管内 男性207名、女性215名
仙台管内 10,794名(男女比は集計中)

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

大崎管内で、警報レベルを継続中です。
仙台管内で、警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より
石巻管内 第31週採取分 SARS-CoV-2 9件
気仙沼管内 第31週採取分 SARS-CoV-2 4件

感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第30週採取分 サボウイルス 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		中間報告	
	第28週取分 (7.11~7.17)	第29週取分 (7.18~7.24)	第30週取分 (7.25~7.31)	報告
RSウイルス	0件	2件	0件	0件
アデノウイルス	1件	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件	0件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症】

県内の陽性公表者数は、8月11日に3,267名となり、同日現在の累計で166,329名となりました。最近の動向を1週間あたりの推移で見ると、第29週14,316名、第30週18,328名、第31週19,265名と増加傾向が続いています。

感染力の強いオミクロン株BA.5による感染急拡大を受け、ひっ迫する医療現場の負担を軽減するため、県は5日に「みやぎBA.5対策強化宣言」を出しました。期間は今月末までで、県民の皆様に対して行動制限は求めませんが、基本的な感染対策の徹底や症状が軽重症化リスクがない場合は、抗原検査キットを利用した自主検査を行うことなどを呼びかけています。具体的な宣言内容については下記URLをご参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/>

【手足口病】

乳幼児を中心に、手や足、口の中などに水泡性の発疹ができる急性ウイルス性の感染症で、夏季に流行がみられます。患者の咳、くしゃみなどの飛沫や便に排出されたウイルスで感染が広がります。県内では、患者数が増加しており、大崎管内と仙台管内は警報レベルを継続中です。今後の動向に十分注意し、手洗いやうがいなどの予防対策を心がけてください。

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157、O26などが代表的です。県内では先週仙台管内で、また今週は塩釜、石巻、気仙沼および仙台管内で報告がありました。

主な症状は腹痛、下痢ですが、小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあるため注意が必要です。手洗い励行などの予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

